

# Kainan East Rotary

DISTRICT 2640 CLUB WEEKLY BULLETIN



1997-98年度RIテーマ



## Show Rotary Cares

for your community  
for our world  
for its people

### ロータリーの心を

あなたの住むところ  
私たちの世界  
そこに住むすべての人々に

*Elon Kinross*  
グレン W. キンロス

1997-98年度  
RI会長

テーマロゴの4本の右手の由来

Object of Rotary  
The Four-Way Test  
Four Avenues of Service

事務所 海南市日方1294  
海南商工会議所内  
TEL (0734)83-0801  
FAX (0734)83-2266

例会日 毎週月曜日 12時30分

♣第1例会のみ 18時30分

於 商工会議所4F

会長 大澤祥宏 幹事 早川 満  
SAA 木地義和

会報委員会 ◎田村健治 ○谷脇良樹  
岩本吉平 橋爪哲生  
前田洋三 西峰義文  
荻野昭裕 瀬藤友子  
土岐啓次郎 吉田昌生

オ1076回 例会 平成10年1月19日(月)午後12時30分

於 海南商工会議所4F

1. 開 会 点 鐘 大沢 祥宏 会長
2. ロータリーソング 「我等の生業」
3. 出席報告 会員総数 73名 出席者数 52名  
出席率 75.4% 前回修正出席率 84%
4. 会長報告 大沢 祥宏 会長

今月1月は、ロータリー理解推進月間となっています。本日は先般地区の方でクラブ情報、規定委員長会議に御出席頂きました上南ロータリー情報副委員長さんの御報告と、楠部情報委員長さんのロータリー理解月間にちなんで卓話をいただける事になっています。

私もこの機会に情報委員さん達のお話を聞いて少しでも多くロータリーの理解を深めたいと思います。皆様よろしく御静聴下さい。

寒さもやっと冬らしくなりました。皆様健康に御注意なさって職業奉仕に御活躍なさって下さい。

5. 幹事報告  
○メーカーキャップ 中尾 公彦君
6. 委員会報告  
○中村社会奉仕委員長  
社会福祉のチャリティーコンサート 2月9日  
2時より 於 ターミナルホテル  
○上芝国際奉仕委員長  
今年の国際大会インディアナポリスへ参加申し込みの方、出来るだけ早く願います。  
○山東ロータリー財団委員長  
①財団より奨学生の募集が来ています。  
事務局迄ご一報下さい。  
②財団寄付が目標額に少したりないので、ご協力をお願いいたします。

7. 会員卓話 上南 雅廷君  
地区クラブ情報・規定委員長会議報告  
日 時 1997. 11. 29 13:00~16:30  
場 所 和歌山JAビル  
挨 拶 ガバナー 堤 啓治  
情報規定委員長 上西 力  
司 会 地 区 幹 事 橋 晴彦

四つのテスト FOUR WAY TEST 言行はこれに照らしてから

- ① 真実か どうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるか どうか

## 協議事項

1. クラブ情報・規定及びR I 規定審議会  
クラブ奉仕部門カウンセラー 中村幸吉
  2. 地区情報規定委員会報告  
情報・規定委員長 上西 力  
質疑応答・講評 各パストガバナー  
規定審議会は、R I 理事会の決定する  
場所で3年に1度開催されることにな  
っており、本年はインドのニューデリー  
に於いて1月12日から16日に開催さ  
れました。  
ここで審議される制定案を協議する重  
要な会議でした。地区の代表議員は、  
平岡ガバナーから月山ガバナーに変更  
された旨報告有り。  
月山ガバナーは地区の代表であるが、  
制定案の賛否は個人の判断で投票する  
ことになっており、本日の会議の空気  
を読んで投票したい旨挨拶された。
- ☆ アンケート取りまとめ (72クラブ)  
地区委員としての意見報告
- ☆ 代議員は、個人として出席する。  
日本から代議員は 34名
- ☆ 日本の制定案3件 (193件)  
98-58・98-78・98-135  
会員数世界の10% 13万にしては提案  
が少ない。
- ☆ ロータリー特別月間活動に関するアン  
ケート調査 (96~97年度)

### 「ロータリー理解推進月間」 楠部 賢計君

R I 理事会は毎年1月を「ロータリー理  
解推進月間」に指定、会員にロータリーに  
ついて一層の知識と理解を深めてもらい、  
同時に一般市民にもロータリーのことをよ  
く知ってもらうためのプログラムを実施す  
る月間です。

会員がロータリーについて、より深くよ  
り一層ロータリーを理解するのは当然で、  
その気になれば地区大会を始め色んな協議  
会に参加すると共に毎月の「ロータリーの  
友」を精読しなくとも開くだけでタイトル  
が目に入りロータリーとは何かぐらいはわ  
かるはずです。

ロータリーを知ることは、その気になれ  
ば或水準までは、そう難かしいことはない  
と思います。知ってから次がむつかしくな  
るので、それを行動に移すこと、ここから  
が問題だと思ふ。

ロータリーは奉仕する団体なのですから

国際奉仕部門は、単独でやらなくともR I  
・地区を通じて行うことができます。

社会奉仕・職業奉仕は単位クラブでやれ  
るし、やらなければならないので、このこ  
とが一般市民にもロータリーを知ってもら  
うきっかけになります。

この場合一番留意すべき点は、与える奉  
仕ではなく、求められる奉仕、地域のニー  
ズに合った奉仕を考えるべきで規模の大き  
なプロジェクトに取組む場合は、他のクラ  
ブとジョイントすれば良いし、多年度に亘  
るものはロータリーが先鞭をつけて行政を  
ひつぱりこんだり市民運動として拡大した  
りすれば良い。

小さな奉仕はロータリアン1人1人が廻  
りを見ればいっぱいあります。

「ロータリーの友」1月号巻頭にグレン・  
キンロスR I 会長が「ロータリーの心を行  
動に」と題した一節に 私が訪れる多くの  
郡市や町々で「ロータリーの例会場はここ  
です」という掲示を目にします。ロータリ  
アンが会合をもっていることは今やだれで  
も知っていることです。しかし残念なこと  
に、ロータリーがやっていることは、それ  
だけだと思っている人があまりにも多いの  
です。こうした掲示を各クラブの真の目標  
を明らかに示すものに取り替えようではあ  
りませんか。

「ロータリーは皆さんの地域社会に奉仕  
しています」或は「ロータリーは皆さんの  
地域社会に心を配っています」  
後は今年1月号お読みください。

私達ロータリアンは地域に密着した小さ  
な奉仕を積重ねてゆくこと、それがロータ  
リーを理解することであり外に対する(一  
般市民)ロータリーを理解していただくこ  
とに継がるものと信じます。

「ロータリー理解推進月間」にちなんで  
の卓話終わります。

### ~~~~~ニコニコ・米山・BOX~~~~~

- 上南雅延君 久方ぶりで前で食事をいただき  
ます
- 上中嗣郎君 木地さんご苦勞様でした
- 山名正一君 4日間かけて車で九州5県をま  
わって来ました
- 楠部賢計君 久しぶりに前で食事をいただき  
ます
- 大沢祥宏君 先週欠席しました 平尾先生急  
に欠席して申し訳ございません  
でした
- 田中昌宏君 娘の結婚に過分な御祝有りがと  
うございました
- 橋本憲紹君 娘のお祝ありがとうございます